

2017年8月23日発売！
雑誌「コトノネ」vol.23 コラムより

「コトノネ」23号に当学園の教育の特集いただきました。また、特集記事の他にも、本園の園児のエピソードからコラムも書いていただきました。素敵な記事ですから、編集部の許可をいただいて、ご紹介させていただきます。なお「コトノネ」23号は、学園のチャレンジショップでも販売しております。 園長 加藤篤彦

「こっちは、倒していいよ」

特集で取材した武蔵野東第一幼稚園は、健常児と自閉症児がいっしょに学ぶ幼稚園。

あるとき、ドミノを並べている子の横で、自閉症児が、ドミノを倒してしまった。もうやめてね、と言っても、並べるそばから倒していつてしまう。並べる、倒す、並べる、倒す…。大きなケンカになつてもおかしくない場面。河井優子先生は、どうなることかと思守っていた。

「攻防を繰り返していくうちに、何を思ったか、健常児は、ドミノを二列つくりはじめた。そして「こっちは、倒していいよ」と自閉症児に言った。「あの子どもたちは、配慮の仕方が本当に自然なんです。大人のわたしたちにはない発想が出てくる。困っているときにも、何かやってみよう、という感じではなく、すっと手が出る。子どもたちみたくに関われたらステキだなっていつも思うんです」(河井先生)。遊び方が違っても、いっしょに遊んでいる気分なのか。いっしょに遊ばなくても、いっしょにいたいと思っているのか。それぞれの人の違いが、新しい出来事をつくり、それが、新しい知恵や感情を生み出していくのだろう。

子どもの環境は、子どもにゆだねよ。

(編集部取材班)



雑誌「コトノネ」は、全国の働く障がい者やそれを支える方達を、洗練された表現で取りあげている雑誌です。2017年8月23日発売のvol.23号に、蔵野東学園の混合教育「いっしょに学ぼう。いっしょに生きていくんだから」の特集が掲載されました。こちらも、是非ご覧ください。

雑誌「コトノネ」 <http://kotonone.jp/latest/index.html>